

環境経営レポート

2019年度版

レポート対象期間：2019年10月～2020年9月

発行日：2020年11月27日

浦和新品環商事株式会社

《第一段階》計画の策定(Plan)

(1)組織の概要

- ①事業者名 浦和新日環商事株式会社 代表取締役 油 布 達 也
- ②所在地 事務所:埼玉県さいたま市緑区三室2459 TEL:048-874-3071
 駐車場:埼玉県さいたま市見沼区染谷2-190(487㎡)TEL:なし
- ③設立日・資本金 設立:1985年11月5日 資本金:10,000,000円

④事業規模

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
処理量	t	466.1	440.6	607.7	445.2
売上高	百万円	557	530	493	476
従業員	人	9	9	9	9
床面積	㎡	29.54	29.54	29.54	29.54

⑤事業の概要

産業廃棄物収集運搬業:

汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類 ほか

特別管理産業廃棄物収集運搬業:

廃油・廃酸・廃アルカリ・廃石綿等・特定有害産業廃棄物 ほか

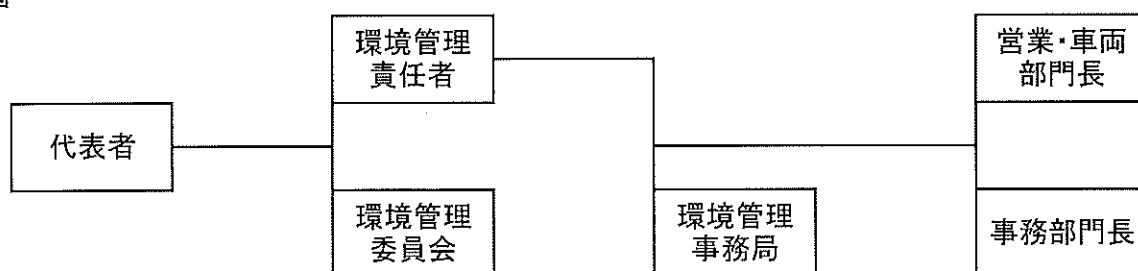
<計画値>

品目	単位	産業廃棄物	特管産廃物	合計
廃油	kg/月	6,000	3,200	9,200
廃酸	kg/月	8,000	12,000	20,000
廃アルカリ	kg/月	4,000	5,000	9,000
廃プラスチック	kg/月	500	----	500
汚泥	kg/月	10,000	1,000	11,000
合計	kg/月	28,500	21,200	49,700

※その他の許可品目は過去実績をもとに成果を上げるべく計画しています。

※詳細は「産廃情報ネット」ホームページをご参照ください。

⑥組織図



⑦施設等の状況

ローリー	4t:大宮800は999
トラック	4t:大宮800す2876(クレーン) 2t:大宮400ぬ8007(パワーゲート)
バン	大宮400て9939 大宮400ぬ1328

⑧許可の状況

自治体	産業廃棄物収集運搬業			特別管理産業廃棄物収集運搬業		
	許可番号	更新年月日	有効年月日	許可番号	更新年月日	有効年月日
福島県	00707005482	H29.5.31	R6.5.30	00757005482	H29.5.31	R6.5.30
茨城県	00801005482	H26.8.13	R3.8.12	00851005482	H27.7.22	R4.7.21
栃木県	00900005482	H30.3.5	R7.2.28	00950005482	H27.7.21	R4.7.20
群馬県	01000005482	H29.10.9	R6.10.8	01050005482	H27.8.10	R4.8.9
埼玉県	01101005482	H29.11.9	R6.11.8	01151005482	H27.9.16	R4.9.15
千葉県	01200005482	R2.2.10	R9.1.21	01250005482	R2.2.10	R9.1.21
東京都	1300005482	H30.1.1	R6.12.31	1357005482	H27.9.3	R4.9.2
神奈川県	01403005482	H30.12.4	R7.10.21	01453005482	H27.7.1	R4.6.30
長野県	2009005482	H30.7.10	R5.7.9	2059005482	H27.8.25	R4.8.24

※許可証は長野県産業廃棄物収集運搬業を除き、優良認定または優良確認済。

《許可の内容》

都県	産業廃棄物収集運搬業													特別管理産業廃棄物収集運搬業											
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	動植残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき	ばいじん	廃油	廃酸	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物						
																			廃石綿	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	ばいじん
福島県		○	○	○	○	○							○			○				○	○	○			
茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
栃木県	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
群馬県	○	○	○	○	○	○				○	○		○		○	○	○	○		○	○	○			
埼玉県	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
千葉県		○	○	○	○	○			○						○	○	○			○	○	○			
東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
神奈川県	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		
長野県		○	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○		

注)特定有害産業廃棄物については、有害物質の種類等に制限あり。

⑨処理実績（業の種類別の欄及び表示欄がないものは実績なしを表す。）

産廃	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類		合計
	136,059	95,881	43,114	51,879	2,355		329,288
特管	廃油	廃酸	廃アルカリ	特汚泥	特廃酸	特廃アルカリ	合計
	15,490	50,550	24,290	11,370	8,597	5,660	115,957

注)2019年10月～2020年9月 単位:kg

(2)対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

①対象範囲 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業、廃棄物の適正処理・リサイクルに関するコンサルティング

②対象期間 2019年10月1日～2020年9月30日 発行日:2020年11月27日

(3)環境経営方針

環境理念

環境問題が地球規模で喫緊の解決すべきテーマとなって久しい今日、私どもは環境事業、とりわけ産業廃棄物処理にかかわる企業として、廃棄物の適正処理を継続的に維持するため処理事業やコンサルティングを通じ社会に貢献します。産業廃棄物の処理処分について従来からの適正処理に加え、資源の有効活用やリサイクルが強く求められることを十分理解し、現業(収集運搬)はもちろんのことコンサルティングにより最新の情報提供等に積極的に取り組みます。

環境方針

1. 現業(収集運搬)およびコンサルティングを通じ、適正処理およびリサイクルの推進に貢献することを目指す。
2. 常に変化する顧客および処分場からの要望事項等を適切に把握し、関係者への情報提供や提案を行うことにより効果的な具体策を提供する。
3. 消費する資源を最小限に抑え、自社廃棄物の低減化、再資源化に努めると同時に、グリーン購入を推進する。
4. 環境経営の継続的改善を実施する。
5. 環境関連法規を遵守する。

制定 2007年02月01日

改定 2011年12月01日

改定 2019年11月01日

浦和新日環商事株式会社

代表取締役 油布 達也

(4)環境経営目標

次ページ参照

(5)環境経営計画

《第二段階》計画の実施(Do)

(6)環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む)

No	環境経営目標				中期計画値					
	項目	基準年度	単位	達成手段	2019年度目標	2019年度結果	2020年度目標	2020年度結果	2021年度目標	2021年度結果
1	二酸化炭素排出総量の削減 (電気ガソリン軽油LPG)	前中期計画実績 平均 (63516)	kg-CO2	電気使用量・ガソリン軽油使用量・LPG使用量の達成手段の励行	61560	46477 (132%)	61529		61497	
(1)	電気使用量の削減	前中期計画実績 平均*1.3 (6846)	kWh	①冷暖房設定温度の管理 ②春秋昼間の冷暖房原則停止 ③休憩時間は原則消灯	5%減 6504	5166 (125%)	6%減 6436		7%減 6367	
(2)	営業車ガソリン使用量の削減	前中期計画実績 平均*1.2 (8928)	L	①不必要な外出の削減 ②効率的な営業ルートの設定 ③燃費の向上 (不要なアイドリング等の削減)	3%減 8661	7223 (119%)	3%減 8661		3%減 8661	
(3)	運搬車ガソリン使用量の削減	前中期計画実績 平均*1.4 (4036)	L	①効率的な営業ルートの設定 (1回線で複数収集等) ②燃費の向上 (不要なアイドリング等の削減)	3%減 3915	3129 (125%)	3%減 3915		3%減 3915	
(4)	運搬車軽油使用量の削減	前中期計画実績 平均*1.4 (11642)	L	①効率的な営業ルートの設定 (1回線で複数収集等) ②燃費の向上 (不要なアイドリング等の削減)	3%減 11293	7717 (146%)	3%減 11293		3%減 11293	
(5)	LPG使用量	前中期計画実績 平均 (47)	m ³	①ガストーブ(2面式)の点火管理 ②エアコン暖房の併用	基準値 47	32 (145%)	基準値 47		基準値 47	
2	一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の維持	前中期計画実績 平均 (97)	kg	①燃えるゴミと紙ごみの分別徹底 ②水分含有物の水切り徹底	基準値 97	94 (102%)	基準値 97		基準値 97	
2-(1)	紙ごみ排出量の維持	新規目標 ※目標値修正	kg	①コピー用紙は必要文書以外の裏紙利用の徹底 ②小冊子、封筒窓枠等のビニール部分を完全除去	100	40 (250%)	100 80		100 80	
2-(2)	紙ごみリサイクル率の維持	新規目標	%	③コピー用紙・小冊子・新聞等については種類ごとに区分のうえ、市運営のリサイクルルートを利用	100	100	100		100	
3	水道使用量の維持	前中期計画実績 平均 (44) ※目標値修正	m ³	定期的な声掛け	基準値 44	31 (141%)	基準値 44 33		基準値 44 33	
4	既存及び新規の収集運搬に係る処理ルートの提案件数	新規目標	件	①新規: 従来からの処分場だけでなく広く見積もりを打診する。 ②既存: 常に他の処理ルートを提案できる体制にしておく。	36	30 (83%)	36		36	

注) 1. 購入電力の排出係数は、2018年度東京電力の「0.455kg-CO2/kWh」を使用している。

2. 事業年度は、10月～9月である。

3. 2年半前に事務所スペースを拡張したものの、当時、前中期計画の目標数値は変更しなかった。今回の新ガイドライン導入に伴う新中期計画においては、拡張の事実を加味して前中期計画平均の3割増しとした。

4. 車両の燃料使用量については、会社の施策として運搬取扱数・量的大幅拡大を目指し、2019年10月に表彰金制度を導入した。これにより、運搬に係る燃料使用量も増大が見込まれ、面会方式による営業活動も継続することから、それぞれの目標値については、前中期計画平均の運搬は4割増し、営業は2割増しとした。

5. 電気使用量の実排出係数(調整後)は2018年度東京電力0.455kg-CO2/kWhを使用している。

6. 目標1二酸化炭素総排出量の算出根拠(基準値分)

- ①電気 6846 × 0.455=3114
- ②営業車ガソリン 8928 × 2.32=20712
- ③運搬車ガソリン 4036 × 2.32=9363
- ④運搬車軽油 11642 × 2.58=30036
- ⑤LPG 47 × 3.00 × 2.07=291

$$⑥①+②+③+④+⑤=63516$$

※目標値分については同様に算出

7. 目標2紙ごみとは、水分及び油分付着のない新聞、雑誌、段ボール、コピー用紙、パンフレット(事業に無関係なものも含む)、封筒類。

8. 目標4は受託廃棄物の環境配慮及びサービス改善のため、収集運搬の効率化を目指し、既存及び新規の処理ルートの提案件数をカウントする。新規の目標のため目標値は暫定値とし、初年度は実績とデータ取りを行う。

《第三段階》取組状況の確認及び評価(Check)

(7)環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

①取組結果とその評価

No	環境目標項目	単位	実績・達成率	評価
1	二酸化炭素排出総量の削減・維持 次の(1)～(5)の集計値【61560】	kg-CO2	達成率 132% 46477	○
	実績分析 電気・ガソリン・軽油・LPGの各項目の目標値に対する合計の達成率が、そのまま当目標の達成率となった。			
	翌期に向けて 達成率が大きく出たのは、削減・維持努力の結果だけではなく、取扱数・量の拡大傾向と新型コロナの影響も大きい。達成率に惑わされず地道に各目標の達成手段を励行する。			
(1)	電気使用量の削減 前中期計画実績平均*1.3比5%減【6504】	kWh	達成率 125% 5116	○
	実績分析 執務スペースの拡大を考慮した目標値に対し、暖冬と夏季休暇前が比較的低温のため目標達成率は大きく出たが、事務所は在宅勤務導入後も通常営業しており昨年度と比較し使用量は163kwh増加した。			
	翌期に向けて マルチエアコンは適正な温度設定のうえタイマー使用、ルームエアコンは原則停止時間を遵守し、使用しない照明・パソコンなどのスイッチオフを徹底する。			
(2)	営業車ガソリン使用量の削減 前中期計画実績平均*1.2比3%減【8661】	L	達成率 119% 7223	○
	実績分析 年間使用量は昨年度と比較し7L増とほぼ同数値となった。今年度当初より運搬取扱数・量の拡大を目指し積極的な訪問営業を推進したものの、下半期は新型コロナの影響により使用量が伸びなかった。			
	翌期に向けて 現状、ひとまず積極的な訪問営業を継続する予定ではあるため、目標値は変更せず据え置きとし、翌期終了後目標値の変更等を検討する。			
(3)	運搬車ガソリン使用量の削減 前中期計画実績平均*1.4比3%減【3915】	L	達成率 125% 3129	○
	実績分析 年間使用量は昨年度と比較し195L増であった。上半期は運搬取扱数・量の拡大路線で増加傾向であった一方、下半期は新型コロナによる影響があったことによる減少傾向がみられた。			
	翌期に向けて 新型コロナでも廃棄物処理業は必要とされ特に定期的に収集する小口の廃棄物は止まらなかった。定期収集については翌期もこの傾向が継続するものと見込まれるため目標値は据え置きとする。			
(4)	運搬車軽油使用量の削減 前中期計画実績平均*1.4比3%減【11293】	L	達成率 146% 7717	○
	実績分析 年間使用量は昨年度と比較し1004L減と大幅減となった。上半期は大口案件の稼働機会の減少、下半期は新型コロナの影響もあり、目標値に対しても昨年度使用量と比較しても減少となった。			
	翌期に向けて 減少傾向にあった一時的な大清掃に伴う大口の案件や事業所解体案件が回復するかどうかにより、使用量が大きく異なることとなるため、現状では目標値を据え置き翌期終了後にあらためて検討する。			
(5)	LPG使用量の維持 前中期計画実績平均【47】	m ³	達成率 145% 32	○
	実績分析 気象庁の気温データでは、昨年と比較し1月平均2.2℃高、2月平均1.0℃高、3月平均0.3℃高であることから、この影響で暖房器具の使用が抑えられたものと思われる。			
	翌期に向けて 暖冬・厳冬により使用量が大きく左右されるが、気温による全面点火、半面点火の達成手段を徹底する。			
2-(1)	一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の維持 前中期計画実績平均【97】	kg	達成率 102% 94	○
	実績分析 年間排出量は昨年度と比較し0.5kg減となった。新型コロナの影響で、一定期間在宅勤務を導入したものの会社は休業することなく事務所は営業しており、毎月ほぼ目標通りの排出量となった。			
	翌期に向けて 紙ごみとの分別をきちんと行うことと、茶殻などの水分含有物はきちんと絞ってから廃棄することを徹底する。			
2-(2)	紙ごみ排出量の維持 新規【100】	kg	達成率 250% 40	○
	実績分析 計画立案時の100kgという数値が明らかに過大のため、目標達成率が異常な数値となっている。			
	翌期に向けて 次年度以降の目標値の変更を行う。			

注) 1. 購入電力の排出係数は、2018年度東京電力の「0.455kg-CO2/kWh」を使用している。

2. 環境目標の達成度: ○…目標達成 △…やや未達(100%未満～80%) ×…未達(80%未満)

No	環境目標項目	単位	実績・達成率	評価
2-(3)	紙ごみリサイクル率の維持 新規【100】	%	達成率 100% 100	○
	実績分析	市のリサイクルルートに直接搬入したが、飲食物等で汚れてしまったものは可燃ゴミ、業務に関係のない雑誌ピラチラシは別途一般廃棄物として市のリサイクルルートに排出した。		
	翌期に向けて	ポストに勝手に投函される業務に関係のない雑誌ピラチラシ類については一般廃棄物収集運搬業者に処理を依頼したが、次年度以降は市のリサイクル施設に直接搬入する。		
3	水道使用量の維持 前中期計画実績平均【44】	m ³	達成率 141% 31	○
	実績分析	2020年1月に便座の入れ替えを行ったが、大幅な実績数値の低減はこの影響が大きいと思われる。		
	翌期に向けて	次年度以降の目標値の変更を行う。		
4	既存及び新規の収集運搬に係る処理ルートの提案件数 新規【36】	件	達成率 83% 30	△
	実績分析	既存ルートの変更提案については事務手続きや金額の問題がありなかなか進展せず、新規については上半期は好調であったものの下半期は新型コロナの影響もあり数値が伸びなかった。		
	翌期に向けて	既存ルートの変更提案については、現状の掘り起こしを行うことにより変更提案にこぎつけることができる案件もあるので地道に検討を続ける。		

注) 1. 実施体制は1ページ「⑥組織図」を参照

2. 環境目標の達成度: ○…目標達成 △…やや未達(100%未満~80%) ×…未達(80%未満)

②次年度の環境経営目標及び環境経営計画

NO	環境経営目標			目標値		
	目標項目	基準値	単位	2019年度 (2019.10~2020.09)	2020年度 (2020.10~2021.09)	2021年度 (2021.10~2022.09)
1	二酸化炭素排出総量の削減 (電気・ガソリン・軽油・LPG)	前中期計画実績平均 (注4) (63516)	kg- CO2	61560	61529	61497
(1)	電気使用量	前中期計画実績平均 (注1) (6846)	kWh	5%削減 (6504)	6%削減 (6436)	7%削減 (6367)
(2)	営業車ガソリン使用量	前中期計画実績平均 (注2) (8928)	L	3%削減 (8661)	3%削減 (8661)	3%削減 (8661)
(3)	運搬車ガソリン使用量	前中期計画実績平均 (注2) (4036)	L	3%削減 (3915)	3%削減 (3915)	3%削減 (3915)
(4)	運搬車軽油使用量	前中期計画実績平均 (注2) (11642)	L	3%削減 (11293)	3%削減 (11293)	3%削減 (11293)
(5)	LPG使用量	前中期計画実績平均 (47)	m ³	基準値 (47)	基準値 (47)	基準値 (47)
2- (1)	一般廃棄物(可燃ごみ) 排出量の維持	前中期計画実績平均 (97)	kg	基準値 (97)	基準値 (97)	基準値 (97)
2- (2)	紙ごみ排出量の維持	新規目標 ※目標値修正	kg	100	100 80	100 80
2- (3)	紙ごみリサイクル率の維持	新規目標	%	100	100	100
3	水道使用量の維持	前中期計画実績平均 (44) ※目標値修正	m ³	基準値 (44)	基準値 (44) (33)	基準値 (44) (33)
4	既存及び新規の収集運搬に 係る処理ルートの特案件数	新規目標	件	36	36	36

(8)環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

《第四段階》全体の評価と見直し(Action)

(9) 代表者による全体の評価と見直し

<p>環境経営方針</p>	<p>変更の必要性 不要</p> <p>指示事項</p>
<p>環境経営目標 環境経営計画</p>	<p>変更の必要性 一部検討必要</p> <p>指示事項</p> <p>①紙ごみ排出量と水道使用量は目標値を変更すること。</p> <p>②ルート提案件数については達成手段のほかに表彰金制度を採用して奨励しているが、進捗については芳しくないため、人事評価に反映させるなどの方策を検討すること。</p> <p>③ガソリン・軽油使用量については、事業環境の変化を加味して継続的に目標値の変更を検討すること。</p>
<p>環境経営システム</p>	<p>変更の必要性 不要</p> <p>指示事項</p>